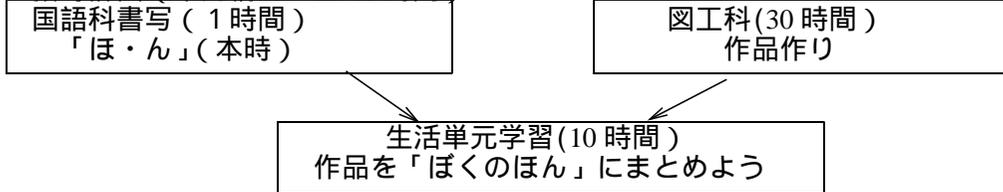


A組 国語科書写学習指導案

平成 14 年 11 月 1 日 (金) 10:00 ~ 10:50 A組教室 指導者 武田真理子

- 1 題材 文字の形に気をつけて「ほ・ん」
- 2 目標 文字の形を理解して、丁寧にのびのびと書くことができる。  
作品展を楽しみにし、進んで楽しく学習することができる。

3 指導計画(単元構想 全 41 時間)



4 指導上の立場

A学級における書写指導では、「書くことに興味をもち、喜んで書こうとすること」「文字の形に気をつけて、丁寧に書こうとすること」をねらいとしている。

児童は、4月から国語や書写の時間に五十音表に従って、順番に絵カードで文字の学習をしてきた。楽しく学習に取り組む意欲を持続させることを最優先して、児童にとって身近な言葉や興味をもちそうな活動と結びつけながら取り組んできた。

本題材の「ほん」は、3学期に行われる「倉敷っ子なかよし作品展」に出品する作品の題字の一部である。児童は、今まで図工の時間等にいろいろな作品を楽しんで仕上げてきた。その作品がいっぱい詰まった大きな「ぼくのほん」を仕上げることは児童にとって楽しんで取り組める活動となるであろう。同時に、児童にとって作品展が初めての経験であることも、期待感をもって作品作りに臨むであろう。また、大勢の人に見てもらおうということもあり、「文字の形に気をつけて丁寧に書く」というねらいを十分達成できると考えて本題材を設定した。

本学級の児童は、本年度、第2学年になってから本学級に入級した。ひらがな五十音を十分に読んだり書いたりできないため、まず、文字の習得に中心をおきながら書写学習の指導を行ってきた。また、読んだり書いたりすることへの苦手意識があるため、書写指導の時間を単独に扱わず、他の教科と関連をもたせて単元化し、目的意識をもって楽しく取り組めるように配慮した。さらに、1時間の学習活動の展開に見通しがもてるようにするため、展開をパターン化するとともに、マンネリ化しないためや進んで学習に取り組めるようにするために、なぞり板や水書板等を使った多様な練習方法も取り入れた。

児童は、視写はある程度できるが空間認識が十分でなく、文字の形を正しく認識することが難しいと思われる。そこで、視覚や触覚に訴えながら運筆を理解させた。

本校の研究テーマ「生きる力をはぐくむ書写教育のあり方ー進んで取り組み、書く喜びのもてる学習指導をめざしてー」に迫るために、本時の学習の題材は作品展の作品で、多くの人に見てもらおうことを伝え、相手意識をもたせることによって、丁寧にわかりやすく書こうとする気持ちを喚起したい。また、練習用具や書く材料を多様に準備することにより、進んで取り組み、書く楽しさを味わえるようにしたい。

5 本時案

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなの外形を理解し，筆順に気をつけて丁寧にのびのびと書くことができる</li> <li>正しい姿勢，用具の持ち方に気をつけながら，楽しく書くことができる。</li> </ul>		
学習活動	教師の支援	準備	
つ か む	1 作品展について知る。  2 めあてをもつ <ul style="list-style-type: none"> <li>外形について理解する。</li> <li>文字の大きさ，書く位置を理解する。</li> </ul>	写真等により，作品展の様子を知り，大勢の人に見てもらうために丁寧に書こうとする気持ちをもたせ，学習の意欲づけを図る。  「おうちさがし」をすることを通して「ほ・ん」の外形を理解することができるようにする。  異なる大きさの文字で書いた作品の中から，中央にのびのびと書いている作品を選ぶことにより，文字の大きさ，空間の取り方がわかるようにする。	写真等  外形枠  作品例
	もじのかたち <ul style="list-style-type: none"> <li>試し書きをして自分のめあてをもつ</li> </ul>	きをつけて，げんきよく，ていねいにかこう。 空書をし，正しい筆順をおさえてから活動に入る。 書写体操をし，正しい姿勢と筆の持ち方の意識付けをする。 手本と比べ，「もっと練習して上手になりたいところ」に「がんばろうシール」を貼り，自分の課題をもつようにする。 めあてがもちにくい時は教師が助言する。	課題カード  ワークシート シール
す す め る	3 練習する。	「むすび」「折り返し」を動作化し，軽くおさえる。 いろいろな方法で練習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>外形枠を書いたワークシートコーナー</li> <li>なぞりコーナー</li> <li>水書コーナー</li> </ul> 正しい姿勢や筆順，めあてなどを意識しながら丁寧に書くことができるように働きかけたり称賛したりする。	ワークシート 魚の結び なぞり板 アクリル黒板 水書板 筆
ま と め る	4 まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ書きをする。</li> <li>評価する。</li> </ul>	本時のめあてを確認し，意欲を高めてからまとめ書きができるようにする。 書写体操をし，正しい姿勢と筆の持ち方を再度意識づける。 まとめ書きの中で，よくなったところを見つけて「がんばったよシール」を貼り，自己評価とする。 試し書きとまとめ書きの作品を並べて，参観者に評価してもらう。	色画用紙 絵の具 筆 花  画板
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>外形に気をつけて，丁寧にのびのびと書くことができたか。</li> <li>いろいろな練習方法で楽しく書くことができたか。</li> <li>正しい姿勢や用具の持ち方に気をつけて書くことができたか。</li> </ul>		